



‘であい’のフォーラムⅢ&Ⅰに出席 ～CTF松阪の活動状況を報告～

2月18日(土)フレックスホテル(松阪市)において、松阪・紀勢生活創造圏づくり“であい”のフォーラムⅢ&Ⅰが開催されました。

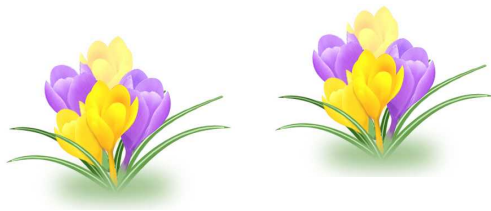
これは、平成12年3月に、松阪・紀勢地域において、行政、地域住民、企業などが協働しながら、よりよい地域づくりを進めるため「生活創造圏づくり宣言」(生活創造パートナーシップ会議)をまとめ、活動を推進してきたものですが、CTF松阪も平成16年度から参加しております。

当日は、本居宣長記念館の門館長による講演のほか、11団体による平成17年度の活動報告、ならびに、9団体による平成18年度新規提案の発表がありました。

CTF松阪からは川口会長はじめ2名が出席し、CTF松阪設立の主旨・経緯、これまでの活動状況などの報告を行うとともに、共感者、協働者のご参加についての呼びかけを行いました。



写真は、プレゼンテーションを行う春多理事



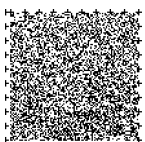
最近、ITに関連する事件の頻発にはうんざりすると同時に憤りを感じる。

みずほ証券の誤発注事件にしても、姉齒元建築士の耐震強度偽装事件にしても、それら事件の発生を防止する機能がなぜ整っていなかったのか。現在のITの発展は、効率性、利便性のみが先走りして、安全性、確実性が置き去りにされているのではないかと思う。

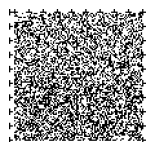
このように不安定な環境ではあるが、もはやITと無縁の生活はできない現状は困ったものである。

安全運転の秘訣は「かも知れない運転」(=狭い路地から子供が飛び出してくるかも知れない、前の車が急に止まるかも知れない・・・)だと言われているが、ITの利用面でも常に「かも知れない」(=あまりにもウ

マイ話なのでこれは詐欺かも知れない、ここで入力した情報は盗まれるかも知れない・・・)を頭に置いて利用することとしたい。 ----- (H.O)



今月号は文字数が多いので、1ページと2ページ、4ページにSPコードをそれぞれ2個ずつ付けてあります。1ページと2ページ、4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





イーサネット(Ethernet)

前回、LAN の解説をしましたが、それになくてはならない技術がイーサネットです。

イーサネットはハワイ大学で開発された Aloha-NET が起源といわれています。それをゼロックス社が自社のコンピュータ同士を繋ぐための技術として ALTO-Aloha を開発しました。この ALTO-Aloha の技術を他のコンピュータにも対応させるようにしたのがイーサネットの起源とされています。その後、Xerox の他に Intel と DEC が参加した共同プロジェクトへと発展し、1979 年には 3 社の頭文字をとった DIX 仕様と呼ばれる 10Mbps の規格 (DIX-Ethernet 1.0) が策定されました。この規格は 1983 年に IEEE から最初の 802.3 規格として制定されました。その後 IEEE 802.3i が制定され 10Base-T(テンベースティー)と呼ばれる同軸ケーブルより安価で、配線の自由度が高いツイストペア・ケーブル (2 対のより対線をペアにしてまとめたケーブル) を使用することによりイーサネットは爆発的に普及しました。

イーサネット通信の基本は一本の物理的な伝送路を複数の PC で共有する仕組みですから、ある PC から送信された信号は同じネットワークにあるすべての PC に届きます。しかしこれでは 1 対 1 の通信を行うことはできません。そこでイーサネットでは「MAC (Media Access Control) アドレス」といわれる番号を使用して相手を特定しています。

MAC アドレスはネットワークカードなどの ROM に書き込まれている固有の番号で、IEEE が管理する 3 バイト (24bit) のベンダーコードと各ベンダが管理する 3 バイト (24bit) のコードで構成された 6 バイト (48bit) の番号が設定されています。この MAC アドレスはそのハードウェア固有の番号なので世界で同じ番号は存在しません。ですからこの番号を使って相手を特定することができるわけです。

この番号は Windows XP や Windows 2000 ではコマンドプロンプトを立ち上げて

```
ipconfig /all
```

と入力すると見ることが出来ます。(Windows 98 では winipcfg です。)

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続:
Connection specific DNS Suffix . . . :
Description . . . . . : Realtek Family PCI Fast Ethernet NIC
Physical Address. . . . . : 00 50 FC 53 77 2E (MAC アドレス)
Dhcp Enabled. . . . . : Yes
Autoconfiguration Enabled . . . . . : Yes
IP Address. . . . . : 192.168.1.2
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
```

このようなイーサネットで使用されている伝送路内の通信制御を行う仕組みを、CSMA/CD 方式といいます。

つづく



松阪市市民活動センター主催のパソコン講座に講師を派遣

松阪市市民活動センターでは、登録団体の方を対象に“知っ「得」パソコン講座”を開催されていますが、2月10日の“カンタン会計簿作成初級編（Excel 初級）”講座に講師の派遣について要請があり、CTF 松阪からメイン講師1名とサブ講師2名を派遣しました。

参加者のお一人は、「基本を一から教えてもらい、参考になった。また参加したい」と話しておられました。（2月11日の伊勢新聞で報道されました）

右の写真は熱心に受講される参加者の皆さん



活動報告

【2月】

障害者対象個人向けパソコン講座
(7日、14日、21日、28日)

障害者宅訪問 IT サポート
(23日)

松阪市市民活動センターパソコン講座
講師派遣
(10日)

松阪紀勢生活創造圏プロジェクト
活動報告会出席（活動状況を報告）
(18日)

松阪市ボランティア連絡協議会
グループ代表者会議出席
(23日)

活動予定

【3月】

障害者対象個人向けパソコン講座
7日、14日、28日
各 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

季節の花・^{あしび}馬酔木

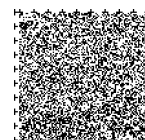


我が背子に 我が恋ふらくは 奥山の
あしびの花の 今盛りなり

(万葉集巻 10-1903)

あなたを、私が恋しく思うことは、奥山の、あしびの花のように、
今が真っ盛りです

馬酔木は、春、枝先から壺形の白い小花が房状に垂れ下がって咲く。馬がその実を食べると酔ったようになることから「馬酔」けられたと言われる。人間にとっても呼吸中枢を麻痺させるのである。



出会い、そして飛躍 (2)

野村由里子

人は夢を持つと俄然強くなる。

その後、Iさんとあちらこちらに声をかけ「知人に〇〇さんを紹介してもらったから行って来るわ。」「△△さんに協力のOKをもらった。」と人を集めていった。ついに4月にはボランティア組織設立準備会を開催し、「CTF松阪」と命名され団体としての形が整えられていった。

その過程で繰り広げられる、人の繋がり、パワー、知恵に何度も驚かされ、感嘆していた。例えば「パソコンが足りないなあ。」「よっしゃ、〇〇会社の社長に古いパソコン頼んでみるわ。」そうやって私も人をお願いすること、人を巻き込むノウハウを知らず知らず勉強させてもらっていたのかもしれない。

その年の秋、職場では「ユニバーサルデザインリーディング事業募集」が回覧されていた。上司から「どう、なんか事業として提案してみないか?」と声がかかった。いつもならそんな提案するなんてとても大それたことだと思ってしり込みするところだが、今回はなんとでもCTF松阪に仕事が欲しかったし、資金的基盤も整えたかった。県庁のUD幹事の部長さんたちの前での事業計画のプレゼンもやってしまった。

事業予算が認められ、研修会だ、マニュアル作りだ、と本当に多くの人に協力してもらった。忙しくなり、「研修会へ人集め。」「期限までに冊子の仕上げ。」等々、胃が痛くなるような心配もあったが、みんなで取り組んでいるときは心強く、楽しかった。夢ができるととんでもない行動力が生まれる。そして夢は実現できるのだと実感した。

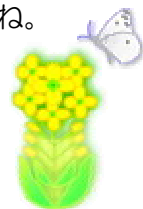
つづく



編集後記

先日、三婆で「おひなさまめぐり in 二見」に行ってきた。

各戸にひな人形が飾ってあり、昔懐かしくなごやかな気持ちで帰ってきました。たまには、こういうイベントに参加することもいいですね。



CTF 通信第36号

2006年(平成18年)3月発行

発行者 ITを活用した障害者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081 松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

